

## 会 議 報 告 書

会議名	平成30年度第2回富士見公民館運営推進委員会
日 時	平成31年3月4日（月）午後1時30分～3時10分
場 所	富士見公民館 第3会議室
出席者	(委員 8人) 小保方委員長、小林副委員長、白石委員、大手委員、 中根委員、樺澤委員、横沢委員、関口委員 (事務局 2人) 新井館長、橋本副主幹
欠席者	櫻井委員、遠藤委員
傍聴者	なし
議題	平成30年度富士見公民館事業報告
配布資料	・ 次第 ・ 平成30年度第2回富士見公民館運営推進委員会資料 ・ 富士見地区コミュニティデザイン
結果概要	○委員会 平成30年度富士見公民館事業報告及び富士見地区コミュニティデザインを新井館長から説明した。

## 主な意見・質疑応答

(白石委員)

赤ちゃんから老人までを対象とした事業が幅広く開催できていると感じました。職員の努力に感謝します。人気のある講座には参加する人が多い。

講座を実施するのにどういう宣伝がされているか。

(事務局)

講座実施のお知らせは館報に掲載するのと自治会回覧を利用しています。子ども対象は学校にチラシを配布しています。

(小林副委員長)

生涯学習奨励員の研修会は役員が集まるくらいで、地区の奨励員・文化部長さんは出席してくれない。ほとんど役員の9人しか出てこない。新年度には新しいメンバーになると思うので、しっかり通知して頑張らなければならない。自治会連合会や行政区の方からも奨励員の役割を認識してもらい、研修等に積極的に参加してもらいたい。

(事務局)

来年度の生涯学習奨励員さんの総会で活動等の詳細と研修会等の協力願いをします。

(小保方委員長)

100人の赤ちゃんを寝かせて写真を撮ったのをGTVか何かで見たことがあるが、それと同じか？

(事務局)

はい。規模は違いますが、同じです。生涯学習課からお知らせがあり、富士見公民館の講座として募集し、開催いたしました。申し込み者が定員より多く、実際も好評でした。来年度も実施したい。

(白石委員)

バレーボール教室をやっているが、小学校にバレーボールクラブがあるのか？

(横沢委員・事務局)

小学校には無いが、社会体育としてはあります。この教室の始まりは子ども会育成会の女子バレーボール大会の地区練習前に女子小学生にバレーボールを指導しようということで始まった事業です。毎年、申し込み者が定員を上回るほど好評です。中学校へあがる前の他校との友達づくりという面でもとても良いので、毎年実施し

ています。

(大手委員)

フレンドシップキャンプですが、これは赤城山ろく里山学校の当初の目的を聞いたことがあるが、生徒数の少ない小学校の子が中学校にあがると、人数の多い小学校から来た子に気おくれしてしまう。それを解消するために中学校へあがる前に他の小学校の子と友達を作れるように実施するという事で変わりはないか？

(事務局)

はい。中学校へあがる前に仲間づくりをして、友達を少しでも多くつくり、中学校生活にスムーズに入れるように例年実施しています。今の子供たちは毎日忙しい日々、生活を送っているので、子ども会のリーダーキャンプとは違い、ゆとりをもった友達づくりを主にメニューを考え年2回のキャンプを実施しています。

(小林副委員長)

以前は5、6年生を対象にしていたが、4年生も対象になり、参加人数も増えてよいと思う。

(事務局)

対象が4年生からなので、何度も参加すると、キャンプでの友達ができて、小学校間で仲良くなれてとても良いと思います。

(関口委員)

里山学校は一時縮小したが、去年、今年でもち直してもらってありがたいと思います。子どもたちにいろんなところで関わりを持たせ、知らない人とでも仲良くすることに事前に取り組んでもらっている公民館の力がありがたい。また、昔と比べて子育て支援が前面に出てきているのがすごく良い。以前、ある人が「圧倒的に富士見は防犯上、良い場所だよ」とほめていただきました。市民は「子育ての場所なのだ」というイメージとか「実際に安全に育てられるのだ」それを公民館が後ろから支援してくれているのが、地域の人やそれ以外の所へ伝わっている事がますます富士見の充実につながるのかなと感じました。反省と評価の所に次年度の方向性をかなりの割合で入れているので、「来年はこういう風にしていきたい」、「これは縮小でもいいのかな」と、なんとなく解るので、とても解りやすくて良かった。

(横沢委員)

赤ちゃんからお年寄りまで、もれなく対応していただいてありがたいと思います。小学校目線からすると、これからの支援は「父親かな」と思う。講座での父親の対

象が苦戦しているのは解る。小学校でもなんかあると父親が出てこないのが非常に大きい。難しい問題だと思います。忙しい家庭も多い。その中で色々な方法を探りながら父親を引っ張り出す方策が必要なのかなと思います。大変なことだと思いますが、次年度も対応していただけるとありがたいと思う。「学びあい、人権、地域ふれあい」でスマホの安心安全の使い方の中で、お願いしたいことは、子ども達やスマホを含めて、いろいろな問題を学校でもやっているが、孫をみてあげられる「おじいちゃん・おばあちゃん」の支援をしていただけるとより一層、安心なのですが、よろしくをお願いします。

(中根委員)

親子教室の託児を保健推進委員で何回か実施しましたが、講座がどんな内容なのか親子教室に保健推進委員の中から数人が一緒に参加できたら良いと思う。預かっている時は泣かれるととても大変です。講座の内容を全部聞かなくても良いので、保健推進委員で講座を聞きたい人がいれば講座に参加させてもらい、「こういうことをやっているのだから託児が必要なのかな」と段々、解ってくれる人がいるのではないのかなと思う。託児の内容が解らなく、ただ託児だけをしているので、ちょっとで良いので見学させてもらう機会をつくってほしい。

(事務局)

次年度の担当職員に保健推進委員さんの講座見学の機会をとるように伝えます。

(白石委員)

講座内容を録画や録音をして見せたらどうか？

(樺澤委員)

親子で楽しく時間が過ごせたり、お母さん同士でコミュニケーションをとったりするのに児童館が富士見には2つあるので、その宣伝をしたほうが良いと思う。

(事務局)

平成30年度のコミュニティデザインの内容を説明

(小林副委員長)

私も参加して富士見かるたのブックレットを前橋学で作成しました。公民館にも置かせていただきます。富士見かるたのことが細かく載っていますのでよろしくお願いします。

(樺澤委員)

夜間、休日利用後の公民館の部屋の鍵を返却するポストを防犯上、中に入れた鍵

が手を伸ばしても取れないくらいの深さにしたほうが良いと思う。5月の10連休は返却ポストがいっぱいになるかもしれないので、気をつけた方が良いと思う。

(事務局)

来年度予算で対処したいと思います。

(事務局)

最後になりますが、2020年のオリンピック・パラリンピックを控え、本市もホストタウンとして来年度からは「外国人選手と地域の交流」という面で、公民館も期待されると考えております。国際交流や異文化理解の要素を取り入れ、今後の国際化社会に向け、市民の意識醸成を図るのには、公民館ではどのような取り組みの可能性があるか委員さんのご意見を頂きたいと思います。

(白石委員)

外国から来ている実習生は富士見にはいないのか？

あちらこちらにいる。

オリンピック関係だけでなく国際交流の観点で考えてみましょう。

(関口委員)

坂道トレーニングや高地トレーニングは富士見地区で出来るのではないかと？

(小保方委員長)

来年度の運営委員会で再度検討をお願いします。